

Housing Tribune

Today for Tomorrow

<http://www.sohjusha.co.jp>

地方創生の切り札となるか



超高齢化時代の新たな暮らし像

動き出す CCRC

建材・設備メーカーの リフォーム戦略最前線

需要の深耕に向けた次の一手とは

国交省、既存長期優良住宅で基準案を公表

まずはS基準から開始 A基準は今後の検討課題に

エネマネハウス 2015

5大学の学生が考える 将来の家

エネルギー、ライフ、アジアをテーマに先進技術や新たな住まい方を提案

構造

ポンベタイプの2液性簡易発泡硬質ウレタンフォーム ハンディフォーム#2205

ハンディフォーム#2205は、ポンベタイプの2液性簡易発泡硬質ウレタンフォーム。

液が入っているポンベが小さいため、床下や屋根裏などの小さなスペースを断熱リフォームする場合も、機動性を活かして作業できる。また、機械などの動力がなくても吹付けが可能だ。

液は吐出後、2～5分で硬化するため、作業の効率化にも貢献する。



フォモ・ジャパン株式会社

☎03-5789-7960 <http://www.fomo.co.jp/>

構造

ホウ酸の力を活かした責任施工の防腐防蟻工法 ボロンdeガード工法

ボロンdeガード工法は、天然鉱物であるホウ酸塩の力を活かした安全・安心な防腐防蟻工法。地下シロアリ、アメリカカンザイシロアリ、木材腐朽菌、キクイムシなどに効果を発揮する。全て（一社）日本ホウ酸処理協会（JBTA）が認めたプロによる責任施工で実施する。既築の場合は地下シロアリ5年保証制度を設けている。



日本ボレート株式会社

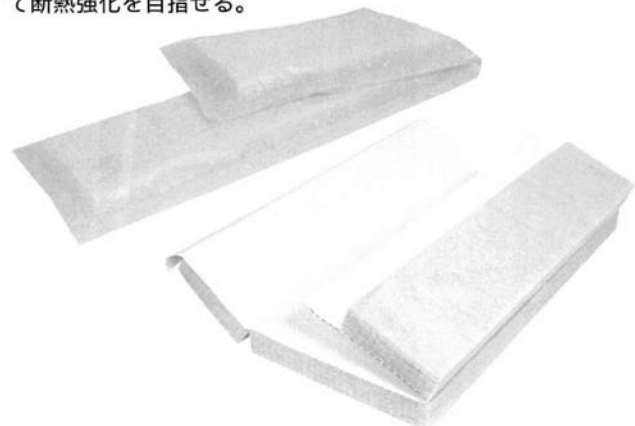
☎03-6659-5785 <http://borate.jp/>

構造

床下の断熱改修専用のグラスウール断熱材 床リノベ

床リノベは、床の断熱リフォーム用に開発したグラスウール断熱材。床下点検口から簡単に入れられるようにするなど、床下からの施工を可能にしており、既存の床をはがさずに、省施工で断熱性能の向上が図れる。

ポリエチレンフィルムで包んだマットタイプと透湿防水シートを一体化させたボードタイプの2種類を用意。既存住宅の床の断熱材の状態を見ながら、使い分けたり、組み合わせで断熱強化を目指す。



マグ・イゾベール株式会社

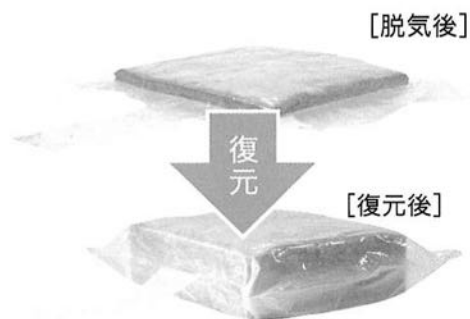
☎0120-941-390 <http://www.isover.co.jp/>

構造

壁内部の気流を止める断熱リフォーム向けのグラスウール製品 気流止め

気流止めは、専用のポリエチレンフィルムにグラスウール断熱材を入れ、脱気して封入した製品。袋にカッターで穴を開けると膨らむ仕組み。

外壁や間仕切り内部に気流が発生していると躯体の断熱性能が弱まる可能性がある。気流止めは、この気流を止めるための製品。気流が発生している外壁や間仕切りの上下に詰め込み、膨らませると、空気の流れを遮断できる。大掛かりな工事が必要なく、後からの施工も行いやすい。



パラマウント硝子工業株式会社

☎03-4582-5380 (東京営業所) <https://www.pgm.co.jp/>

創業50周年記念大会を開催

元旦ビューティ工業

全国元旦代理店会および全国元旦会長会との共催で、10月19日に「創業50周年記念全国元旦代理店会・全国元旦会 合同大会」を盛大に開催した。

元旦ビューティ工業は金属屋根材の大手メーカーで、1965年に創業。主力商品である横葺き屋根の「ビューティーフ」や「ダンカクルーフ」をはじめ、用途別にさまざまな商品をラインナップしている。

また、今年度は創業50周年記念商品として菱形が印象的な屋根・壁兼用材「元旦くろ



代理店や施工店など大勢が参加。創業50周年を祝った

す50」を新発売した。

大会ではVTRで、こうした同社の歩みを紹介した。また、来賓挨拶として、亀井静香衆議院議員、内閣総理大臣補佐官の衛藤晟一参議院議員が祝辞を述べた。

上期決算、増収減益 米国事業など影響

三和ホールディングス

第二四半期の決算を発表した。売上高は前年同期比9・9%増の1609億円、営業利益は同15・3%減の60・5億円、経常利益は同17・4%



「来年60周年を迎える上で、今年度は重要な年。通年で目標達成できるようにしていきたい」と話す代表取締役会長 CEO・高山俊隆氏

減の56・4億円、純利益は同1・8%減の32・3億円と、増収減益となった。

減益の理由については、米国内における原材料コストの上昇と販売管理費の増加が影響したという。

通期については、売上高は前年同期比8・0%増の3660億円、営業利益は同6・3%増の280億円、経常利益は同5・5%増の274億円と増収増益を見込んでいる。

また、今回、三和ホールディングスは株主還元のための充実を図るため、750万株・総額50億円の自己株式を取得。

発行済株式総数（自己株式を除く）2億3367万1046株のうち、自己株式数は1024万9451株となった。

カーテンの新ブランドが誕生

465点を掲載した見本帳を用意

サンゲツ

新しいライフスタイルを提案するカーテンブランド「ACC」を発表。総点数166柄・465点のアイテムを掲

載した見本帳「ACCカーテンファブリックス2016・2019」も用意した。

見本帳で様々なライフスタイルに対応した豊富な施工例を掲載。カーテンだけでなく、家具や書籍、時計、コップなどの小物にまでこだわること、好みのインテリア空間をイメージしやすいように配慮した。

最新のデザインを取り入れながら、コーディネートしやすい無地調の商品も拡充した。そのほか、収録製品の9割以上が防炎性能を付与したものの、マンションでも安心して使用できる。

工務店支援のセミナーを全国6会場で開催

デコス、日本ボレイト

「ながいき住宅のレシピ」をコンセプトに共同で立ち上げた新ブランド「デコレイト」の設立記念セミナーを高松、広島、博多、仙台、京都、東京の全国6会場で開催した。デコスはセルロースファイバーを用いた住宅の高性能化を推進。日本ボレイトは、ホ



工務店関係者にデコレイトのメリットを訴求する日本ボレイトの浅葉社長

ウ酸を用いた防蟻処理事業を展開している。デコレイトでは、両社が培ってきたノウハウを提供し、住まいの高性能化、長寿命化に取り組む工務店支援を行っていく。

デコレイト設立記念セミナーのテーマは「知らないといけない施工ミス」。セルロースファイバーの断熱施工、ホウ酸の防蟻処理を責任施工するデコレイトのメリットを紹介した。

そのほか、デコレイトの採用工務店として納得住宅工房の倉本大取締役副社長も登壇。「自社で施工して方が一、施工が基準に満たなかった場合を考えると、責任施工で専門事業者任せの方が良い」と述べた。